

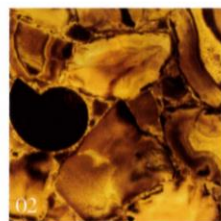


ホーチミンシティでの滞在なら

ホーチミンシティのドンコイ通りは、常に、その時代を象徴してきた通りだといえる。サイゴン大教会付近のロータリーからサイゴン川にかけてまっすぐに延びるドンコイ通りは、都市がサイゴンと呼ばれていた時代から繁華街であり、観光ブームを迎えると雑貨店や土産物店が増え、外国人客が増えると新しいホテルも増えてきた。今、ドンコイ通りの顔といっているホテルが、2015年に開業

した「ザ・レヴェエリー・サイゴン」。タイムズスクエアという高層ビルの低層部と高層部を占めるホテルは、経済発展著しい、今のベトナムの心意気を表すかのように、とにかくきらびやかで豪華だ。

天然の琥珀板を装飾に用いたエレベーターで、7階にあるレセプションへ向かうと、そこには、マラカイト（孔雀石）を用いた巨大な時計が鎮座し、世界に二つしかないというコロンボスタイル社



のデコラティブな8人掛けソファが置かれていた。大理石、モザイクタイルなどの素材で仕上げた装飾は、イタリアから呼び寄せた職人たちが手がけたもの。館内各所やスイートルームなどに配されている家具も、ジョルジュエッティ、ヴィジヨネア、カッシーナなど高級イタリアブランドで、まるで最新イタリアンデザインのリゾートのようなものだ。

27階から39階までの高層階を占める客室は、向きによってサイゴン川の景色や、人民委員会庁舎

ら延びるグエンフエ通りの全景を眺望できて、街のつくりやその発展ぶりがとてもよくわかる。今のホーチミンシティの息吹を体感するために、アクア・メコンに乗船する前泊などで、滞在してみたいホテルだ。

S

坪田三千代

つばた みちよ／編集者&ライター。旅行誌や女性誌を中心に、旅の記事の企画、構成、取材執筆を手がける。これまでに渡航した国々は、70カ国余り。日本各地の地域起こしに関連する記事も多い。

松川真介

まつかわ しんすけ／写真家。出版社勤務を経て、2005年にフリーランスに。渡英後、海外取材を中心に世界各地を巡る。現在は東京をベースに国内外の雑誌や広告で活躍。
www.shinsukephoto.com



01.スイートに宿泊するゲスト専用のラウンジ。02.エレベーター内には琥珀の装飾が。03.1階ロビーは豪華絢爛。

04.青を基調にしたジュニアスイート。05.中国料理「ロイヤル・パビリオン」。06.ランチの飲茶メニューも大人気。





アクア・メコン

Aqua Mekong

全長62.4m、全20室を備えるリバークルーズ船。メコン川流域各地を4泊5日と7泊8日で航行する。ラウンジやダイニングも洗練されていて、最新ナビゲーション技術とハイレベルの乗務員を備える。

☎ 03-5405-9213
(アクア・エクスペディションズ日本地区販売総代理店 ICM)

🌐 www.aquaexpeditions.com

取材協力: ケントス・ネットワーク



ザ・レヴェリー・サイゴン

The Reverie Saigon

全286室のラグジュアリーホテル。系列のベトナム料理レストラン「ベトナムハウス」(<http://vietnamhouse-saigon.com>)も美味しい。

☎ 84-28-3823-6688
日本でのお問い合わせ:
リーディング・ホテルズ・オブ・ザ・ワールド

☎ 0120-086-230
📍 22-36 Nguyen Hue Boulevard &
57-69F Dong Khoi Street,
Ho Chi Minh City, District 1

💻 www.thereveriesaiigon.com



▶ ベトナム、カンボジアへのアクセス

TYO → SGN
PNH → TYO

東京(羽田・成田)からホーチミンシティ・タンソンニャット国際空港へJAL直行便が毎日運航。また、東京(羽田・成田)、名古屋(中部)、大阪(関西)からバンコク・スワンナプーム国際空港へJAL直行便が毎日運航。バンコクからプノンペン国際空港へコードシェア便が運航。

INFORMATION ホーチミンシティへ1日2便!

ベトナム(ホーチミンシティ)へは、成田発午後便と羽田発深夜便の1日2便が毎日好評運航中。お客さまのスケジュールにあわせて、お選びいただけます。いずれの便もボーイング787型機での運航です。近年、ビジネス・観光に人気のベトナム。ベトジェットエアとのコードシェア便も開始され、ますます便利になりました。